

# つなぐ手

2019

令和元年11月

Vol.14

公益社団法人 富山県柔道整復師会

令和元年11月30日発行

## 主 な 記 事

- 令和元年度富山県防災訓練 ..... 1~3
- 高岡市総合防災訓練 ..... 3
- 射水市総合防災訓練 ..... 4
- 南砺市総合防災訓練 ..... 4~5

- 砺波市総合防災訓練 ..... 5~6
- 小矢部市総合防災訓練 ..... 6~7
- 黒部市総合防災訓練 ..... 7~8
- 魚津市総合防災訓練 ..... 8



## 富山県総合防災訓練

## 令和元年度 富山県総合防災訓練に参加して

**日時** 令和元年9月29日（日）  
午前9時30分

**場所** 入善町 入善町総合体育館

災害対策委員 古川 信也

魚津断層帯を震源とするマグニチュード7.3の地震や集中豪雨を想定した富山県総合防災訓練が、入善町の入善町総合体育館をはじめ黒部市、朝日町の9会場で行われました。全国で初めての海上自衛隊と消防が連携した災害派遣医療チーム（DMAT）の輸送訓練の実施もあり、住民、県警、消防など過去最多の約1万3000人が参加し、当会より吉村英男会長、森田満副会長、眞田克樹委員長をはじめ26名の委員、活動員、入善町在住の先生方が災害時の緊急応急措置活動を行いました。

負傷者に対して、速やかに身近にある新聞、雑誌、傘を用いての副木包帯固定、毛布を利用した簡易担架による搬送、また【包帯体験コーナー】ではピンクやブルー・黄色に自前で染めたカラー包帯を子供たちの手首にまいた所、大喜びでした。

石井隆一富山県知事の視察の後、閉会式に参加し富山県防災総合訓練は終了しました。

近年増加する激甚災害を踏まえ、災害に対する意識は各々高まっていると思われます。本日の訓練の経験を通し、我々柔道整復師は日頃からの応

急手当の処置を生かし、更に知識と技術の向上に努め、今後の活動や災害時に社会貢献できる取り組みが大切だと思いました。





## 各地域の総合防災訓練に参加して

### 高岡市 総合防災訓練に参加

**日時** 令和元年9月1日(日)  
午前9時30分

**場所** 伏木中学校体育館

#### 苅部 望 会員

今年は伏木地区の明神隆会員、佐藤周一会員、苅部望会員の3名で上肢・下肢の骨折や捻挫に対する応急手当の実技指導を行いました。

災害時、段ボールとシーツ(包帯)を使って簡単に出来る固定方法や足関節をテーピング固定し、すぐ歩ける様にするなどを伏木各地区の方々に説明し大変好評を得て終了後、炊き出しのカレーライスを頂き解散しました。

近年、全国各地で地震や台風による被害が多

発しています。富山でも、いつ起きてもおかしくありません。その時は我々柔道整復師が一致団結し、協力し合って怪我人等の救急処置を行い、少しでもお役に立てる様に努めたいと思います。



## 射水市 防災訓練に参加して

**日時** 令和元年8月25日(日)  
午前9時～

**場所** 射水市水戸田コミュニティ  
センター

災害対策委員 藤森 和則

快晴の空の下、令和元年8月25日に射水市大門地区水戸田コミュニティセンター周辺で最大震度7を想定した射水市防災訓練が行われ、災害協定を結んでいる射水市柔道整復師会も多くの団体同様に今年から参加しました。あいにく高岡ブロック保険実務講習会と日時が重なったため嶋光一、高坂峰雄、藤森和則の3名の会員での訓練参加になりました。

事前に市役所の担当課より「骨折の固定」をお願いしたいと要請がありましたので、副子や三角巾を使った教科書に沿った固定法と必要な物が無い時の代用で新聞紙やビニール袋を使った固定法を地元住民の皆さんに紹介しました。参加した会員が自身の発案でピンク色に染めた綿包帯を用意し子供を対象に副子固定を体験してもらいました。ピンクの包帯は子供、大人の隔てなく女性に大

変人気があり用意した分は、すぐに無くなってしまいました。また遠くからでもカラー包帯は目立ち、柔道整復師会のブースを利用したことがわかる利点もありました。



## 令和元年度 南砺市総合防災訓練

**日時** 令和元年8月25日(日)  
午前8時～

**場所** 城端地域  
城南屋内グランド周辺

栗田 勝弘 会員

8月25日(日)快晴の空の下、午前8時に震度6の地震発生という想定のもと、令和元年度の南砺市総合防災訓練が城端地域にて開催されました。

南砺市では、福野・福光・城端・井波の4地域を持ち回りで開催しており市民の防災意識を高めています。

自主防災組織(各町内30名ほど)の人が、AED取扱訓練・救護訓練・初期消火訓練・水防訓練・豪雨対応訓練の5カ所を回って体験するというも

ので、われわれ柔整師は、救護訓練の部門を担当しました。そこで南砺市接骨師会会員15名が、下腿、頸部、肩部、前腕の4パートに分かれて市民のみなさんに応急手当や家庭にある身近な素材を使った固定の実演を体験していただきました。新

聞紙や雑誌、ダンボール、ペットボトル、傘、ひも、ガムテープなどを使い固定すると、体験された方々からこんなものでもしっかり固定できるんだと驚きやら感心の声があがっていました。



## 砺波市 防災訓練に参加して

**日時** 令和元年9月1日(日)  
午前9時～

**場所** 砺波市高波会場

災害対策委員 林 禎之

砺波市では9月1日(日)防災の日に合わせて、今年度は高波地区を中心に5会場で震度7の地震が起きた事を想定した防災訓練が行われました。

砺波市地域防災計画に基づき、砺波市・消防・自衛隊・警察・医療関係・自主防災組織・市民等約2千人が参加され、砺波市接骨師会から9名(平木、廣安、三谷、末永、辻井、保科、林実、林政



良、林禎之)の会員が参加しました。

高波会場では、昨年の北海道地震の教訓を生かして導入された段ボールを利用し、ベットの組み立てたり、親子でくつろげるスペースを作ったりされていました。また自衛隊と消防署員による倒

壊現場からの救出訓練、炊き出し訓練も同時に行われました。

砺波市接骨師会では、救護活動・健康相談として段ボールや傘等を利用した固定方法、三角巾の代わりに風呂敷やビニール袋を使用したりした固定を、市民の方々の前で実際に行わせて頂きました。また訓練に参加された方の中には、会場に

られる際に足関節を捻挫された方が相談に来られ、応急処置をさせて頂きました。

富山県は災害が少ないと油断せずに、これからも防災訓練に参加、協力して意識を高めていき市民の皆さんに柔道整復師ができる事をしっかり見て頂けるようにしていきたいです。



## 令和元年度 小矢部市総合防災訓練

日時 令和元年9月22日(日)  
午前8時～

場所 北蟹谷運動広場

水野 克彦 会員

曇り空の下、小矢部市総合防災訓練が北蟹谷運動広場にて行われました。



小矢部市柔整師会から12名が参加しました。

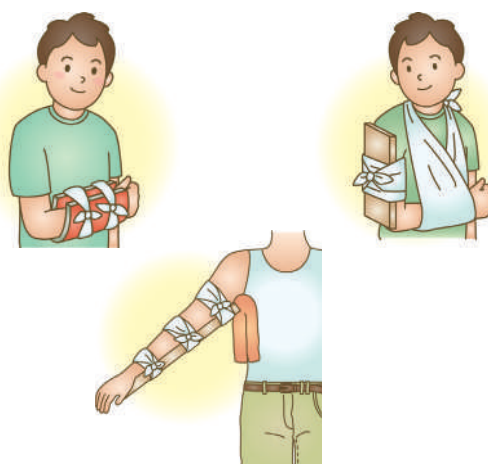
今回の訓練は、北陸新潟断層帯を震源とするマグニチュード7.6の強い地震が発生し、小矢部市で震度6強を観測、市内全域の建物が倒壊し多数の負傷者が出ているといった想定で行われました。

小矢部市柔整師会は骨折や脱臼、捻挫、打撲といった負傷の応急救護として各接骨院から持ち寄った金属副子や包帯、三角巾等を用いて施術、固定を行いました。また簡易担架を用いて負傷者の搬送訓練も行いました。

毎年、全国のどこかで災害時が起っています。災害が少ない富山県ですが、いつどこで起こるかわからない災害にむけ、防災訓練を通して自主防



災の大切さがよくわかりました。このような訓練での経験を今後の活動に役立てたいと思います。



## 令和元年度 黒部市総合防災訓練

日時 令和元年9月29日(日)  
午前8時～

場所 黒部総合体育センター





## 令和元年度 魚津市総合防災訓練

日時 令和元年9月29日(日)  
午前8時～

場所 旧魚津市立大町小学校

